

2024-25年度
秋のRYLAセミナー 報告書

テーマ

「つなぐ！」

「人」×「創造」×「行動」=?

開催日

2024年 9月14日(土) / 15日(日) / 16日(月・祝)

受付開始日時

受講生：9月14日(土) 10:00

ロータリアン：開講式9月14日(土) 14:30 受付

閉講式9月16日(月・祝) 13:00 受付

研修会場

大阪リゾートホテル・ロッジ舞洲

〒554-0042 大阪市此花区北港緑地 2-3-75 TEL:06-6460-6688 <https://www.lodge-maishima.com>



基調講演

テーマ 「人とつながる喜び」

講師：四宮 孝郎 氏 (辰巳興業株式会社 代表取締役社長)



大阪リバーサイドロータリークラブ

✉ osaka.riverside.rotary@gmail.com

TEL : 06-6445-0654 FAX : 06-6445-0906

〒530-6691 大阪市北区中之島 6-2-27 中之島センタービル31階

■主催：国際ロータリー第2660地区 ガバナー 大橋秀典

■担当：国際ロータリー第2660地区 RYLA 委員会

■主管：国際ロータリー第2660地区 大阪リバーサイドロータリークラブ

◆スケジュール表

1日目 9/14(土)				
時間	プログラム	内容	準備物	場所
10:00	受講生受付開始	荷物はセンペルバックヤード	貴重品 自己管理	ロビー
11:00	オリエンテーション	自己紹介等	筆記用具	ホールC・D
12:00	昼食	お弁当スタイル		ホールC・D
13:00	研修①	アイスブレイク	筆記用具	ホールC・D
14:30	ロータリアン受付			ロビー
15:00	開講式 研修②	式次第参照 基調講演 四宮孝郎氏 閉会 / 記念撮影	受講生に ポロシャツ配布	センペル
17:00	受講生チェックイン	部屋へチェックイン		ロビー
17:30	夕食	定食スタイル		レストラン
18:30	研修③	ロータリーの時間 チームRYLA紹介	筆記用具	センペル
19:30	研修④	キャンプファイヤー	アトラクション	ホテル キャンプファイヤー施設
21:00	入浴 / 消灯			ログハウス



◆スケジュール表

2日目 9/15 (日)				
時間	プログラム	内容	準備物	場所
07:00	起床			
07:30	朝の集い	お弁当スタイル	運動靴など	野外
08:00	朝食			センペル
09:00	研修⑤	ウォークラリー センペルで暗号の解読	運動靴など	野外
12:00	昼食	お弁当スタイル		
13:00	研修⑥	マシュマロタワー	マシュマロ スパゲティ	センペル
15:00	研修⑦	ワールドカフェ	筆記用具	センペル
	夕食	BBQ		BBQ 会場
20:00	座談会	ロータリーパパ・ママとの時間 1日の振り返り	キャンプ用 ランタン	施設屋内外
21:30	入浴 / 消灯			ログハウス

3日目 9/16 (月・祝)				
時間	プログラム	内容	準備物	場所
07:00	起床			
07:30	朝の集い		運動靴など	野外
08:00	朝食	アンケート・学友申込		センペル
09:00	研修⑨	グループ発表準備	貴重品 自己管理	ログハウス *手荷物 センペルバックヤード
	移動	チェックアウト		ロビー
12:00	昼食	お弁当スタイル / 発表準備続き		ホール C・D
13:00	ロータリアン受付			ロビー
13:30	閉講式			
14:00	研修⑩	グループ発表 修了証授与式 3日間のビデオ上映		センペル
16:00	記念撮影 / 解散			

◆開講式 式次第

開会点鐘	……………	国際ロータリー第2660地区ガバナー	大橋 秀典
国歌「君が代」斉唱			
ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱			
主催者挨拶	……………	国際ロータリー第2660地区ガバナー	大橋 秀典
開講宣言・参加者紹介	……	大阪リバーサイドロータリークラブ会長	南出 謙一
趣旨説明	……………	2024-25年度 秋のRYLAセミナー実行委員長	徳山 善雄
TeamRYLA紹介	……………	TeamRYLA代表	甲斐 翼
受講生決意表明	……………	秋のRYLAセミナー受講生代表	文野 貴司
閉会挨拶・閉会点鐘	……	国際ロータリー第2660地区ガバナー	大橋 秀典

<君が代>

君が代は
千代に八千代に
さざれ石の
巖となりて
苔のむすまで

<奉仕の理想>

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我らの生業
望むは世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永久に栄よ
我らのロータリー ロータリー



◆主催者挨拶

国際ロータリー第2660地区ガバナー 東大阪東ロータリークラブ 大橋秀典



みなさまこんにちは、今年度ガバナーを拝命しております東大阪東ロータリークラブの大橋秀典です。

本日は、秋のRYLAセミナーにお集まりいただきありがとうございます。まずは主催者として、開会あいさつをさせていただきます。

受講生のみなさん、ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）は、14～30歳の若い世代を対象とした短期集中型のリーダーシップ育成プログラムです。

当地区は、1978年に日本初の春のRYLAセミナーを大阪府羽衣青少年センターにて開催して以降、春・秋のセミナーを通し多くの若きリーダーを育ててきました。

RYLAプログラムの目的は

- ・若者のリーダーシップスキルを磨き、地域に貢献している若者を表彰すること
- ・若者の心に生涯にわたる奉仕の精神を育みロータリーを通じた奉仕の機会へと導くこと
- ・若者のリーダーシップ育成を支援することにより、ロータリーの青少年奉仕を実践することにあります。

みなさんがこの3日間のセミナーにより、多くの友情をはぐくみ、リーダーシップを大きく育て、未来を担う人材へと成長することを心より祈念します。

ホストである大阪リバーサイドRC、地区RYLA委員会はじめ、ここに集うロータリアンのみなさん、本日、ここに2024-25年度のRYLAセミナーを開催できること、皆様のご協力のおかげと感謝申し上げます。

本年度は大阪・関西万博の関係で、この「秋のRYLA」一回だけの開催となっております。クラブの皆様にご推薦をお願いしたところ、60名の定員に75名を超えるご応募を頂いたと聞いています。本当に、ありがとうございました。

本年度のアーチックRI会長のテーマである「ロータリーのマジック」という言葉を、これほど3日間で感じられるプログラムは他にないと思います。

どうか、最後まで若い力を信じ、またその成長を楽しみに、3日間を無事に過ごせるよう、お力添えをどうぞよろしくお願い致します。

簡単ではございますが、主催者の開会あいさつとさせていただきます。

ありがとうございました。

◆開講宣言・趣旨説明

開講宣言：大阪リバーサイドロータリークラブ会長 南出 謙一



本RYLAセミナーの開催にあたり、ご紹介させていただきました地区役員の皆様、多くの受講生の皆さん、ロータリアンのご参加やご登録いただいております沢山の皆様、誠にありがとうございます。また地区RYLA委員会の皆様、Teamライラの皆様そして、ホストクラブである当クラブRYLA実行委員会の皆様には、本セミナー開催に向けての準備のため多大なエネルギーと時間を使い取り組んでいただいたご尽力に対しまして、心から敬意を表したいと思います。ありがとうございました。

さて、日本には『一期一会』という諺がございます。

『一期』とは仏教語で『生涯』を表し、『一会』とは『ただ一度の出会い』を意味します。

諺の意味としましては、たとえ毎日顔を合わせる家族や友人、仕事仲間であっても、その日その時の出会いは一生に一度だけで、二度と同じ日や機会が戻ってくることはありません、という意味になります。

今日、ここへ集まった受講生の皆様はご家族や所属先のロータリアンから、または友人や先輩など毎日顔を合わせる方々から声をかけられ

たり、または友人や先輩など毎日顔を合わせる方々から声をかけられる機会が戻ってくることはありません、という意味になります。

RYLAセミナーに参加することを選択されたかもしれません。平凡なきっかけだったかもしれませんが『一期一会』の意味の様に、人との出会いはかけがえのないものだと感じる事が出来れば、いつもの平凡と思っている出会いも違って見えるのではないのでしょうか。

人との出会いが繋がりを生み、その繋がりを育み深めていくきっかけにこのRYLAセミナーがなれると嬉しく思います。

この出会いや経験が受講生の皆様にとってかけがえのないものとなり、皆様の人生がより豊かな未来へ繋がっていくことを切に願います。

今回のRYLAセミナーを通じて、参加されている受講生の皆様並びにロータリアンの皆様それぞれの相互理解が深まり、交流の輪が一層広がり、皆様それぞれがお持ちの親睦と奉仕の心に寄与されることを切に願って、簡単ではございますがこれにて2024-2025年度秋のRYLAセミナーの開会宣言とさせていただきます。

受講生の皆さん、楽しみましょう。

趣旨説明：秋のRYLAセミナー実行委員長 徳山 善雄



本日は国際ロータリー第2660地区ご来賓のみならず、ご参加頂きましたロータリアンのみならず、そして若き日の貴重な時間を注いで、このRYLAセミナーへの参加を決められた受講生のみならず、この日を迎えられることにつき、RYLA実行委員会一同を代表して心より御礼を申し上げます。

さて、本セミナーの目的は、受講生のみならずこれから歩んでいけるであろう社会でのポジション、あるいは家庭での役割などにおいて、「みなさん色」のリーダーシップに気づき、発揮いただけることを目指すものであります。

毎年RYLAセミナーにはテーマがありますが、今年のテーマは「つなぐ」です。サブテーマは「人×創造×行動=?」としました。

人は一人で生きられるものではなく、人とつながり、互いに影響を与え、また与えられて成長し、変化していくものです。

受講生のみならずはこの研修への参加という「行動」を決断されました。そして出会った仲間、「人」との協力で「創造」を目指す中で、

内に秘めたるみなさん色のリーダーシップを大いに発揮していただきたいと願っています。

この研修をステップに、未来という大きな白紙のキャンパスの上に、それぞれ違うみなさん色のリーダーシップを鮮やかに描きだしていただけることを願ってやみません。

意義ある研修にするためにも、とにかく楽しんでこの3日間、取り組んでいきましょう！

以上、ご挨拶とさせていただきます、ご清聴有難うございました。

◆Team RYLA紹介

3日間のプログラムを企画し運営した、チームRYLA 7人の頼もしいお兄さん・お姉さんです。

甲斐 翼
池島 詠美
山崎 さやか
塚田 徹
菊池 雅人
嵐 脩真
田中 康太郎



◆受講生決意表明

受講生72人の代表として、文野貴司さんが3日間を体験のセミナーに臨む決意を表明しました。



◆第1日目 研修② 基調講演

講師：四宮 孝郎 氏



国際物流企業の経営者として、また今も大阪西南ロータリークラブのロータリアンとして活躍される四宮氏から、受講生に向けて、人とつながる喜びをテーマに基調講演をいただきました。

経歴

1977年 神戸大学法学部 卒業
1977年 長瀬産業株式会社 入社
1982年 辰巳興業株式会社 入社
1991年 辰巳興業株式会社 代表取締役社長就任
現在に至る

ロータリー歴

1993年4月7日 大阪西南ロータリークラブ入会
1998～1999年度 クラブ幹事
2005～2006年度 第2660地区 地区幹事
2009～2010年度 第2660地区 地区代表幹事
2011～2012年度 クラブ会長
2019～2020年度 第2660地区 ガバナー
2021・2022年 RI 研修リーダー
2022～2023年度 第3地域ロータリー財団コーディネーター補佐

時代が変われば、人とのつながり方は変わるもの。古くは、駅の黒板を使った「伝言板」や、黒電話やFAXしかなかった時代を、現代の携帯やSNS時代と比べながら、氏の経験談が紡ぎだされます。

しかし、変わらないことは、人とのつながりの大切さ。氏は受講生に向かって「今どきの若者は素晴らしい」と語りかけました。

いつの時代も、どんなやり方でも、人とつながる喜びは変わらないもの、今どきのやり方で若者らしく、つながりを築いてくださいとエールを送られました。

質疑応答



受講生からは、講演を聴いた感想や、氏に対する質問が多数寄せられました。経営者として海外に飛躍した時期の社会状況や苦勞談、さらにロータリークラブでのつがる楽しさなどが、より詳しく語られました。

その中のひとつで、人とつながる上での心構えが受講生から質問されました。

それに対して氏からは、

「絶対に（相手を）裏切らないこと」

「ありがとう、という感謝の気持ち」

このふたつを大切にしていると強調されたことが印象的でした。



◆第1日目 研修① オリエンテーション・昼食

いよいよRYLAセミナーがスタートします。
受講生は期待と不安を胸に、会場に続々と到着しました。

【自己紹介・アイスブレイク】

「チームの約束事」をチーム（班）ごとに集まって話し合います。
集合してさっそく、班ごとにオリエンテーションとアイスブレイクの開始です。

「はじめまして・・・」緊張の中、メンバーになる人への興味津々もあって、
徐々に会話が飛び交いだしました。



◆第1日目 研修③ロータリーの時間 ・ チームRYLAの時間

ロータリークラブの歴史と、活動内容がスライド写真をもとに説明されました。
「将来ロータリー活動にぜひ参加ください」



◆第1日目 研修④キャンプファイヤー

チェックインした受講生は、さっそく次のプログラムであるキャンプファイヤーの会場に向かいます。

みんなで「猛獣狩り」ゲームを楽しみました。

みなさんは、捕獲した猛獣3頭の名前の文字数を覚えていますか???



◆第2日目 朝の集い

朝のプログラムです。

めざまの朝はラジオ体操で始まります。

2日目はいよいよ、リーダーシップ研修プログラムスタートです。

頑張ってください！



◆第2日目 研修⑤ ウォークラリー

チームが2組に分かれて、連絡を取り合いながら謎を解きます。知力と体力の発揮です。

ホテルの広い庭園に謎を解くカギが散らばっていて、みんなで探して歩きます。謎のカギが集まったら、ホテルのセンベルホールに戻ってチームで謎を解きます。

おや！バックにハープの調べが。
チームRYLAの山崎さんはプロの
ハープ奏者なのです。
ハープの調べの中、謎をチームで
調べます。



◆第2日目 研修⑥ マシュマロチャレンジ

< マシュマロチャレンジ >

チームで乾燥スパゲティの塔をつくります。
尖塔には一個のマシュマロを突き刺します。
一番高い塔を競います。

紐と紙テープだけで、どうやってスパゲティが塔になるのか、
知恵と仲間の役割分担が問われます。
ちなみに世界記録は91cmだそうです。



◆第2日目 研修⑦ワールドカフェ

< ワールドカフェ >

「つなぐ」をテーマに、チームごとに各メンバーの「つなぐ」を語り合って、チームとしての「つなぐ」のストーリーをつくります。

つぎに、チームメンバーをシャッフルして、話し合った「つなぐストーリー」を他のチームメンバーに説明します。多様な視点が育まれます。



◆第2日目 夕食 BBQ

充実の研修プログラムで頭と体を酷使したあとは、
屋外でのバーベキューでおなかを満たします。



バーベキューを楽しんでいるところに、
なんと打ち上げ花火の大きな音が・・・
大阪西ロータリークラブさんから
サプライズギフトの花火が上がりました。
きれいな花火をみんなで見上げました。

◆第2日目 パパママ座談会

バーベキューのあとは、チームごとにロータリーパパとママを囲んで座談会です。

ホテルの庭園やロッジのテラスなどで、ランタンを焚いて語り合いました。



◆第3日目 朝の集い

2日目の朝は、体操の代わりに体を動かすミニゲームでした。

鳥や動物になりきって朝の空気を胸いっぱい呼吸します。



◆第3日目 研修⑨グループ発表準備 (1班～5班)

1 班



2 班



3 班



4 班



5 班



グループ発表は、なんといっても
RYLA 研修プログラムの集大成です。

各班はロッジ棟に陣取って
発表準備の作戦会議が進みました。



◆第3日目 研修⑨グループ発表準備 (6班～10班)

6班



7班



8班



9班



10班



発表テーマは
「つなぐ・つながるためのリーダーシップとは・・・」

各班とも、メンバーの個性がぶつかり合いながら
構想を練ります。

一方で、横で見守るパパとママは・・・
「時間が足りないかも!!」と
心の中でつぶやいて、ドキドキ焦ってます。

◆第3日目 研修⑩グループ発表 (1班～5班)

1 班



2 班



3 班



4 班



5 班



グループ発表は、模造紙に書いたリーダーシップに関するコンセプトをもとにメンバー全員が発言していきました。

班の個性が光っていて、ミニ演劇や各自インタビュー方式などで発表する班もありました。多彩なRYLA参加者構成のよい面が発揮されました。

◆第3日目 研修⑩グループ発表 (6班～10班)

6班



7班



8班



9班



10班



発表を聴くロータリアンも、メンバーの発言に思わずうなずいたり、笑ったり・・・多彩なリーダーシップのあり方に大きな気づきを得ることができました。

発表準備中、ドキドキしながら見守っていたパパママは発表の素晴らしさに、思わず目頭が熱くなっていました。

◆ロータリーパパ・ママ講評

1班 大阪リバーサイドRC 松原悠真

はじめてのパパとしての参加、また私自身が受講生たちと年齢も近くサポートできるか不安の中スタートしました。

1日目は受講生及び私自身も緊張の中のスタートでしたが様々なイベントと一緒にこなして行く中でチームとして個人としても成長していく受講生のみんなには感動しました。中でも座談会では、チームメンバーみんなが夢や希望を今までの人生を振り返り話す姿には感動をしました。

私自身が受講生と関わり様々な気づきを頂いたRYLAでした。最後に参加して良かったと思えた事も良かったです。サブパパの山中さん筈本さんRYLA実行委員会、大阪リバーサイドロータリークラブの皆様、ありがとうございました。



2班 大阪リバーサイドRC 伊藤定夫

* 1日目

研修1：午前中にRYLAの受講生8名中の7名が揃う。班毎にロータリーパパを交えて自己紹介をする。しかし、8人目の女性が遅れて参加するのか、体調不良の欠席なのか、わからない。

研修2：チーム名を決めるために仮のリーダーを岡本君として、デスカスするも決まらず、サブ・パパが1案「シグナルズ」を出すも、その後チーム名はあまり使用はされなかった。

8人目の女性が14:50に到着した。急いでユニフォームに着替えて開会式に間に合う。

研修3：基調講演 講師：四宮パスト・ガバナーの「人とつながる喜び」は、分かり易い語り口、質問への回答。よく分かりました。「ロータリーの時間」（1回目のゲーム：研修4）グループ毎に集り：45秒の前迄に全員が座る。最後の1人が「45秒をオーバー」すると「ダメ」。2班は、44.33秒で10班中1位となりました。

その後は「キャンプ・ファイヤー」でした。この間、打ち上げ花火が（サプライズで）打ち上げられました。最初の1日目は2班にとって意気上がる1日でした。

* 2日目

研修5：8人が2班に分かれてウォークラリー：3か所を回って答えをだす。答えを出して、もらった用紙を折り目線に従って2枚をかさねると7文字が現れた。結果は「未来を守る」であった。

正解は見つかったものの、最初にもらった用紙のミスプリントがあったため「ノーゲーム」となってしまった。残念。

研修6：マシュマロ・チャレンジ 1回目は、47cm位のタワーが出来て2位か3位ぐらい？ 予期せぬ2回目があって、120cmに挑戦して、あえなく失敗して0cm。この2回目の成績でのみで順位が決まってしまったのは残念であった。

研修7：「ワールドカフェ」では、今回のRYLAセミナー・テーマの「つなぐ！」であり、少し抽象的なテーマでした。50年前の「KJ法」を用いて各個人の考えや案を多く出して纏めてゆく手法で始めりましたが、途中からメンバーの1人が似顔絵を描きだして、テーマが発散して、グループ作業が脱線してしまいました。以後の2日目感想は「省略」

* 3日目

朝食中にグループの最年長者に1言注意して、発表の準備に臨んだ。

グループ発表の準備：最年長のリーダーが30分ほどの研修生だけの会合で発表内容の修正をして、10:00から発表用の表を作成しだした。インクやペンをサブ・パパが用意してくれて12:00ギリギリに完成し、最後に4人で分担発表する手はずも整えていた。

グループ発表：

2班は、10班中の2番目の発表であった。10班中の1~3番に入る出来栄で、2日目の失敗を見事に取り返してくれました。1言だけ声掛けをしたが、3日間ほとんど、ただ見守るだけを守ったことは、われながら、良かったと思っています。私にとっても、素晴らしい体験をした、3日間でした。



◆ロータリーパパ・ママ講習

3班 大阪リバーサイドRC 藤井寿治

年齢、性別、職業、そして、国籍の違うメンバーが、会場で初めて顔合わせを行い、3日間の様々な研修を通じて、それぞれの考え方、感じ方の違いを受け入れ、お互いを尊重しあう様子を間近で共有することができ、素晴らしい経験をさせていただきました。

私が印象に残った点として、日本語でまだ自分をうまく表現できない国籍の違うメンバーがいる事が、逆にチームの一体感を加速させるきっかけになったこと、そして、お互いのことを尊重してくれる、受け入れてくれると感じた時に、初めて、心の内に秘めていた事を恥ずかしがることなく、自分の想いを打ち明け、一体感、お互いの絆を深めていく様子には、感動すら覚えました。「あらゆる人が公平に扱われ、尊重され、組織・社会において包括される」というDEIを、この短い期間で実践し、体感させていただいた経験が、このRYLAの本当の凄さではないかなと感じます。この研修プログラムを企画して頂いたチームRYLAさんには、本当に感謝いたします。



4班 大阪リバーサイドRC 望月康平

はじめてRYLAセミナーに参加させて頂き、4班の「メインパパ」の大役を仰せつかりました。4班の受講生は7名、10代から30代までの幅広い年齢層、東南アジアからの留学生も2名いて、個性あふれるメンバー達でした。

初日の顔合わせ・自己紹介から皆すぐに打ち解けました。パパ・ママ含め、互いに「あだ名」で呼び合う和気あいあいとした雰囲気。4班の目標は「あたたかい家族になる」に決定しました。

2日目のプログラムも皆熱心に取り組み、特にマシュマロ・チャレンジでは、4班は非常に個性的なタワーを完成させました。ですが、その振り返り時に、「事件」が起こりました。留学生の受講生の1人が、突然、「もう帰りたい。皆に無視されている。」と涙ながらに訴えました。それまで、4班はよくまとまっているように見えていましたが、日本語が少し苦手なその留学生は、皆の会話・意見交換のスピードについていけず、強い疎外感を感じていたのです。突然の告白に対して、受講生らは逃げませんでした。厳しい言葉を正面から受け止め、真摯に謝りました。その後は、その留学生にわかるように語り、それぞれの意見に丁寧に耳を傾けるようになりました。

その「事件」の後、4班は一つになっていきました。2日目夜の座談会では、一人ひとりが自分の経験や考えを熱く、丁寧に、時には涙ながらに語り、互いにそれを受け止め、自分の意見を返して・・・そういう若人達の姿を近くで見ている、パパも（ひそかに）もらい泣きしてしまいました。

最終日の発表では、「RYLAを通して本当の意味での『コミュニケーション』を学んだ」、「この3日で4班は『あたたかい家族』になれた」と、自分達の経験と感動を、緊張しながらも、精一杯ぶつけてくれました。

RYLAに参加させて頂き、たくさんの感動を得られたこと、心より感謝しております。サブパパ・ママをはじめ、関係者の皆様方、誠にありがとうございました。



◆ロータリーパパ・ママ講評

5班 大阪大淀RC 高山孝一

前回の秋RYLAではサブサブパパという立場で参加、今回はメインパパとして4班の受講生たちと2泊3日を過ごしました。

班の構成がバランスなどをよく考えていただいていた28歳～19歳の7名そのうち男性4名、女性3名という内訳でした。アイスブレイクの時点で最初に感じたのは、社会経験・性別・言語力の差により協調性のあるなし、自己主張の強弱の差を強く感じました。

どのようなフォローをしていこうかと悩んでおりましたが、プログラムが進むにつれ受講生が互いにその差を受け入れ、平坦化し、チームビルディングを行っていく中でよいところを引き出しあう姿が印象的でした。

特に記憶に残っているのが、最年長の受講生がリーダーシップをとる実力があがりながら出し切れていないと感じていたところ「ワールドカフェ」において成り行きではあるがリーダー役となり、責任感からといった部分はあるものの班をまとめることを積極的に行い成功。最終日の発表に至るまでの過程ではとてもよい働きをしていたように映りました。彼自身にとって意義のある成長につながると思います。

5班の総評としては楽しく、全力で取り組み、各々が成長できたといったことが3日間を通じてできたと思っています。後になりませんが準備から設営、運営に至るまで携わってくださったRYLA委員会と大阪リバーサイドRCのみなさま、プログラムだけではなく随所でご活躍いただいたTeamRYLAのみなさま、またそのほかロータリアンや関係者のみなさま。今回の成功はどなたが欠けても達成できたものではないと思います。心よりの感謝を申し上げ敬意を表します。ありがとうございました。



6班 東大阪東RC 田原さおり

この度は、3日間にわたるRYLAセミナーのロータリーママとして参加させていただき、大変光栄に思います。

セミナーを通じて、18歳から29歳の、そして多様なバックグラウンドを持つ6班の受講生と深いレベルで交流できたことは、私にとって非常に貴重な経験でした。

セミナーでは、チームビルディングのマシュマロチャレンジ、コミュニケーションスキルのキャンプファイヤーやBBQ、問題解決の謎解きなど、多岐にわたるプログラムが用意されていました。

これらのセッションを通じて、6班の受講生は明らかな成長と、自身の潜在能力を引き出す機会を得たと思います。

何より、最後まで諦めない受講生の姿に、何度も心を動かされました。

そして受講生たちが自らの経験を率直に共有し、互いの成長を支え合っていたと感じたロータリーパパママの時間。チームの一員としてだけでなく、個人としても成長する姿を見ることができました。

私自身もロータリーママとして、受講生の皆さんから多くの刺激を受けました。彼らのエネルギーと情熱は、私にとって新たな気づきを与えてくれるものであり、今後の活動に活かしていきたいです。また、人間としての深い理解を追求する重要性を再認識しました。



◆ロータリーパパ・ママ講評

7班 大阪リバーサイドRC 川原田慶太

私にとって今回のRYLAは二回目の参加でした。前回のくずはRCさん主催のRYLA研修では「サブサブパパ」として参加したのですが、その際は「見守る」ということを徹底されていた印象が強く、事前のパパママ研修でもそのことが強調されていました。ところが、受講生のメンバーはわたし自身の子どもと変わらないような年代であったことや、緊張をほぐさないと・・・と力が入るあまり、研修開始直後はつい話しすぎてしまいました。



その後、路線を修正し、受講生たちからヘルプを求められたり、よほど議論が停滞してしまった場合などを除いては、見守ることを徹底したため、受講生たち自ら積極的に発言するようになりコミュニケーションの量が増えていきました。大人が出すぎるのはよくないと反省しました。

私の担当となった7班には、RACメンバーが2名、米山奨学生が2名、ロータリアンの子弟や社員の方が2名、そして日本へきて2週間ほどしか経たないドイツ人学生が1名と、まさにダイバーシティを体現したようなメンバー構成でした。初日はまだお互いが分からず、言葉の壁などもあって会話もぎこちなかった印象がありますが、徐々にお互いの性格や得意不得意、役割などを模索しながら手を取り合い、課題を楽しんで取り組むようになりました。2日目の朝のラジオ体操では、受講生たちがとても親しげに話している会話を聞き、嬉しかったのと同時に若い人たちの柔軟性や環境への対応力に改めて感心をしました。

年齢はもちろんのこと、学生/社会人、日本育ち/海外育ち、など全く異なる環境にあった若者が、偶然にも「RYLA」という場に集まりお互いを思いやり、交流を通じて尊重し、関係性を深めて仲良くなっていく様子を見るにつけ、自身のいまのあり方について考えなおしたり人との出会いの奇跡性のようなものを強く感じました。

今回のテーマは「[つなぐ] 人×創造×行動=?」でしたが、閉校式の最終発表においては、四宮パストガバナーの基調講演にもあった、昔の大人の「最近の若い者は・・・」という口癖が吹き飛ばすような、各班らしい、すばらしくユニークな発表がなされました。

中でも、わが7班は、発表を作り上げていく過程でそれぞれが局面に応じてリーダーシップを発揮し、そのときフォロワーに回った人たちは笑いでチームの雰囲気や和らげたりして、全員が最終発表の製作に関わり、また関わられるように支援していたことは本当にすばらしく、難しいテーマへの結論を出し切ったメンバーには惜しみない拍手を送りたいと思います。

今回のRYLAセミナーでは、受講生だけでなく、地区RYLA委員会を始めとするロータリアンやチームRYLAの方々や二泊三日の時間を共有できたこと、そして大阪リバーサイドロータリークラブのメンバーと一緒に一丸となってRYLA開催に向けて取り組めたことは、私にとってかけがえのない貴重な経験となりました。

この場をお借りして、本RYLAセミナーに関係された皆様には改めて感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

8班 大阪リバーサイドRC 柏直樹



担当した8班も多様なメンバー構成で、18歳から28歳の年齢差があり、海外からの留学生2名を含む多彩な個性が集まりました。初日はぎこちない雰囲気や、どうやって集団として一体感がでてくるのかなあ？と、ドキドキしていました。

そうなのです、私は初めてのロータリーパパ経験だったので、メンバー7人に充実した3日間を提供できるかどうか、不安と心配でドキドキしていたのです。しかし、そのドキドキは杞憂に終わりました。

いざ様々な研修プログラムをメンバー全員で取り組む中で、それぞれの個性が発揮されていきました。さらに各自の個性をお互いが認め、そして個性を尊重する雰囲気に包まれました。極めつけは最終日のグループ発表です。「リーダーシップとは何か」を、なんと！ミニ演劇で表現すると言うではありませんか。小林ロータリーママ、中山ロータリーパパと、「演劇で大丈夫?!」と再びドキドキしながら見守りました。しかしこれも「サヨナラ満塁ホームラン級」で素晴らしい表現だったのです。思わず目がウルウルとなりました。「短い時間でよく、ここまで仕上げたね。」

終わってみて、充実した3日間を体験し学びを得たのは、実はメンバーだけでなく見守るロータリーパパとロータリーママでした。先輩ロータリーパパが語っていたことは、このことだったのですね。

さいごに、チームRYLA・地区のRYLA委員会、その他開催を支えていただいた皆さまに感謝とお礼を申し上げます。貴重な体験をありがとうございました。

◆ロータリーパパ・ママ講評

9班 大阪城北 R C 睦知伸一郎

今回初めてのRYLAでパパをさせていただきました。私自身とても勉強になる三日間でした。貴重な経験をさせていただきありがとうございます。私は受講生と年齢も近くパパというよりかは兄のような気持ちで接する事を意識しました。

米国から出てきて1ヶ月のほとんど日本語が通じない18歳の男性に対して、英語を話せる人ができる限り通訳となり、英語を話せない人はできる限り簡潔な文章をグーグル翻訳で訳しながら伝え、心が折れかかっている彼に対して一緒に学ぼうと声をかけ、彼が得意な場面が来たら彼の言葉に皆が必死で耳を傾け、そしてその彼は期待に答えようと図やグーグル翻訳で必死に気持ちや考えを伝えながら、完成したマシュマロタワーは皆の良い思い出と経験になったと思います。

大袈裟な表現ですが言葉や年齢や宗教の壁はお互いが気を使い尊重し合えれば取り払える壁ではないかと感じました。（言葉が通じ合えればなお良い）テーマにあった「つなぐ」を自分なりに解釈すると、「人と人とが互いに相手を尊重し大切にしようこと」だと考えました。

9班のそれぞれのメンバーのおかげで最後に皆が笑顔で帰っていく姿を見て今回のRYLAの大成功を肌で感じました。三日間ありがとうございました。これからも9班の皆さんとつながってみたいです。



10班 大阪リバーサイド R C 徳上洋之

パパ担当を拜命頂き快く引き受けたものの、何をして良いのやらと不安ばかりでした。ただ、パパママ講習会を事前に受けることにより、不安は解消されました。『子ども達の成長を見守る』事を教えて頂き、3日間はそれに徹して活動致しました。

『成長を見守る』これが簡単そうでなかなか難しく、子ども達で話し合っって結論を出そうとしても、間から口出ししたくなってしまう。その気持ちを抑えるのに必死な3日間でした。

初日の子ども達は何かぎこちなさを感じましたが、翌日にはそれは解消されてました。3日目にはそれぞれがそれぞれの場面でリーダーシップを発揮する場面が見受けられ安心して見守る事ができました。

3日間で1番成長したのは私であったのかもしれませんが。貴重な経験をさせて頂いた皆様に感謝申し上げます。



◆閉講式 式次第

開会点鐘	国際ロータリー第2660地区ガバナー 大橋 秀典
主催者挨拶	国際ロータリー第2660地区ガバナー 大橋 秀典
参加者紹介	大阪リバーサイドロータリークラブ会長 南出 謙一
RAC紹介・学友会案内	国際ロータリー第2660地区ローターアクト委員会 委員長 北村 太作 国際ロータリー第2660地区学友委員会 委員長 樋口 晃
グループ発表	TeamRYLAディレクター 嵐 脩真
休憩	
修了証書授与	国際ロータリー第2660地区ガバナー 大橋 秀典
所感	国際ロータリー第2660地区RYLA委員会委員長 土方 慶之
RYLA旗引き継ぎ	大阪リバーサイドロータリークラブ会長 南出 謙一 大阪リバーサイドRC南出会長→大橋ガバナー →大阪大淀RC尼田会長
2025-26年度 秋のRYLAセミナー	
ホストクラブ挨拶	大阪大淀ロータリークラブ会長 尼田 勝彦
閉講宣言	大阪リバーサイドロータリークラブ会長 南出 謙一
閉会点鐘	国際ロータリー第2660地区ガバナー 大橋 秀典



◆RAC紹介・学友会案内

ロータリーアクトクラブ RA 北村太作・池島詠美



皆さん3日間お疲れ様でした！この3日間の中で、「ロータリーアクトクラブ」とか「RACって何？」という会話が各班で少しは話されたと思います。

ロータリーアクトの方、手を上げて！ 米山奨学生の方、手を上げて！はい、では今手を上げなかった皆さんには、この3日間の経験が繋がる、続きがあります。ここでもう一人紹介します。ロータリーアクト地区代表の池島詠美です。

皆さんお疲れ様です、ここからはTeam RYLAではなくロータリーアクト地区代表としてお話します。ロータリーアクトクラブは18歳から40歳前までのメンバーが世の中に何か良いことをしようと集まっている組織で26クラブあります、それぞれ個性のあるクラブです。その26クラブとロータリーの青少年グループと一緒にを行うイベントがあります。

皆さんは「ポリオ」という感染症を知っていますか？日本では根絶されましたが、世界ではまだ根絶できていないものです。来年の10月20日に世界でポリオ根絶を目指した「END POLIO NOW FES」というイベントを行います。沢山のメンバーが皆さんをお迎えしますので是非、このRYLAセミナーで仲良くなった皆で来てください。お待ちしております。

この3日間、本当にお疲れ様でした、ありがとうございました。

学友委員会 委員長 樋口 晃

RYLAセミナー受講者のみなさん、お疲れさまでした。このセミナーを通じ色々な人につながり、またリーダーシップについて多くの事を学ばれたと思います。

ロータリーアクトクラブ、米山プログラム以外の方手を上げてください、40名ぐらいの方ですね、今から手を挙げた方にお話させていただきます。

そもそもロータリーとは何かを知っていないと思いますので、ロータリーとは何か、どのような活動をしているか、どのような人たちが、この事を皆さんに発信をし、情報を届けるのがロータリー学友会という組織です。皆さんはこのRYLAセミナーを受講されると、自動的にロータリー学友会に入会となります。そして学友会公式LINEに登録をしてロータリー情報を入手して頂き、ロータリーについて学ぶ機会を提供させて頂いております。また、この学友会ネットワークを利用して頂き、今回のRYLAセミナー受講者の方々が、ずっと繋がる場を提供とサポートをさせて頂くのがロータリー学友会です。

どうぞ皆様これからもこの繋がりを大事にしていきましょう。



◆第3日目 修了証書授与



◆RYLA実行委員長所感

国際ロータリー第2660地区RYLA委員会委員長 土方 慶之

皆さんお疲れ様でした。数々の感動的な場面の後で、長い話も野暮だと思い、端的に所感を述べたいと思います。

今回は72名の参加で、過去最多の受講生が参加されました。72名の大勢の若者たちみなさんがちゃんと3日間のセミナーで学んでもらえるだろうか不安でいっぱいでした。ところが、ホストクラブの大阪リバーサイドロータリークラブが、2年間かけてコツコツと築き上げた素晴らしい計画、そしてTeam RYLAの年々進化する素晴らしいプログラムの設定と運営があったお陰で、このように無事に進めることができました。本当に、とても素晴らしいRYLAになったと思っています。受講生のみなさん改めて拍手をお願いいたします。

準備にあたって、大阪リバーサイドロータリークラブ、TeamRYLA、地区のRYLA委員会の面々がいかに痛快で素晴らしいメンバーだったと、1時間くらいしゃべりたいのですが・・・それは10月20日のポリオデーでゆっくりお話ししましょう。



先ほどのRYLAセミナーの集大成であるグループ発表すごかったですね。それぞれの内容にそれぞれ学びが多く、私にとっても、とても勉強になり、沢山メモもとりました。そこには素晴らしいキーワードが散在しています。たとえば、人との架け橋・リーダーは時々の瞬間で変容する・希望と可能性のかけはし・等々数を挙げればきりがありません。それから前代未聞だったのは、ある班の発表のなかで、ガバナーとパストガバナーに掛け合いを求めたシーンでした。この発表をしたメンバーは、10月20日のポリオデーで、ガバナーとパストガバナーに飲み物をごちそうしてください。

「つなぐ」というテーマで繰り広げられたRYLAセミナーですが、このテーマは本当に良かったと改めて思います。みなさんは「つなぐ」はありふれた言葉かなと思われるかもしれませんが、実はとても深く、いろいろな意味を含めたテーマ設定でした。それは、人の心をつなぎ、自分自身の心の中をつなぎ、世の中に伝えていくつなぎ、周囲の人に伝えていくつなぎ、と様々な光景です。そのような多様なつながりに受講生も気づき、グループ発表でもそれが内包されて、またそれが表現されていたことは、実に感動的でした。

最後になりますが、受講生のみなさんが今回知り得たこととか、感動したことは、みなさん自分の中で、つなげていって熟成していって欲しいと思います。そしてさらに、周囲の人にもそれを伝えてつなげていって欲しい。ロータリーというのは、良き考えを拡げてゆく団体です。また、ロータリー活動の良いところは、押しつけないこと、多様性を尊重することにあります。四宮パストガバナーは、自分を高めていくためには、多方面の多様な人々と関わるのが大切、この3日間の間でそれぞれの個性を尊重することを学んで欲しいと、講演で話されました。その通りにグループ発表ではその学びや個性が凝縮されていて、素晴らしかったです。みなさんは、今回、みんなで作り上げた成果、自分の中で何かが変わった成果に誇りを持って下さい、そして周囲につなげていって欲しいと思います。

みなさんは何でもできるし、何にでもなれる！！

◆RYLA旗引き継ぎ



◆閉講挨拶

国際ロータリー第2660地区 大阪リバーサイドRC会長 南出 謙一



9月14日より3日間実施しました2024-2025年度秋のRYLAセミナーの閉講にあたり、一言ご挨拶を述べさせていただきます。

受講生の皆さん、3日間いかがだったでしょうか。楽しく充実した3日間になったのではないかと思います。

初日には初対面の人達が多く、緊張した顔つきだった人も2日目からはチームごとの課題や各自の認識が共有され、チームでそれぞれより強固なつながりを持てたのではないでしょ

うか。まさに、基調講演にて四宮パストガバナーから教えていただきました『人とつながる喜び』を実体感することが出来たのだと確信しております。

ただ、本RYLAセミナーは受講生の皆様の人生の中では1ページにも満たない僅かな時間であったと思います。この『つながり』をこれから強く育てていくのは、受講生皆様の選択と行動で決まります。

もし、学校や職場で辛く悲しいことがあって悩んだときはRYLAセミナーで出会った仲間や仲間と過ごした時間を思い出してください。

もし、辛く苦しくて心が弱ってしまった時はRYLAセミナーで出会った仲間に連絡してみてください。ご自身が抱えている心のモヤモヤをもしかしたら取り除いてくれる存在になるかもしれません。

本RYLAセミナーでの気づきや学びが皆様の今後の活躍のきっかけになったことを切に願うと同時に皆様一人一人に広がる無限の可能性を信じ、進んでいってもらえれば大変嬉しく思います。

最後になりましたが、本RYLAセミナーの閉講にあたり、ご紹介させていただきました地区役員の皆様、多くの受講生の皆さん、ロータリアンのご参加やご登録いただいております沢山の方々、改めましてありがとうございました。

また地区RYLA委員会の皆様、Teamライラの皆様そして、ホストクラブである当クラブRYLA実行委員会の皆様には、本セミナー開催に向けての準備から本日に至るまで、多大なエネルギーと時間を使い取り組んでいただいたことに、心から感謝したいと思います。

簡単ではございますがこれにて2024-2025年度秋のRYLAセミナーの閉会宣言とさせていただきます。ありがとうございました。

◆閉講挨拶

国際ロータリー第2660地区ガバナー 東大阪東ロータリークラブ 大橋秀典



みなさまこんにちは、ガバナーの大橋です。RYLAの主催者として、開会あいさつをさせていただきます。

まず、この素晴らしいRYLAを運営いただいた、南出会長、徳山実行委員長はじめ大阪リバーサイドロータリークラブのみなさん、RYLA委員会のみなさん、Team-RYLAのみなさん、受講生のみなさん、そして、パパママで若者と一緒に泣き笑いの時間をすごしたロータリアンの皆さん、本当にお疲れ様でした。

あっという間の3日間だったのではないのでしょうか。

1日目のオリエンテーションで初めて出会い、四宮パストガバナーの楽しいお話で多くの友人を作ると心に誓い、キャンプファイヤーで一つの火を囲みました。2日目は朝からみんなで体操をし、屋外プログラムで汗を流し、夜はみんなでBBQを楽しんだことと思います。今日は最終日で、朝からこの後のグループ発表の準備に追われてアツという間に閉講式を迎えていると思います。

今回のRYLAのテーマは「つなぐ」です。

1日目に心に誓ったように、多くの友達とつながれたのでしょうか？

みなさんそれぞれの「つなぐ！」がどのような素晴らしい経験になったのか、このあとの発表を聞くのが本当に楽しみでなりません。

今回のRYLAプログラムは今日で終わりますが、これからがみなさんのつながりの始まりです。

10月20日のEND POLIO NOW FESでポリオという感染症のことを学びながら多くの仲間とつながったり、ローターアクトクラブで奉仕を通じて知り合ったり、学友会でもっと多くのロータリープログラムの卒業生とつながったりしませんか？

つながることで自分自身を成長させて、一緒にマジックを起こしましょう！



受講生の皆様、3日間の研修お疲れ様でした。



無事に次回の RYLA に「つなぐ」ことができました。

～それではつぎの RYLA で「つながり」ましょう～

編集：大阪リバーサイドロータリークラブ
2024-25 秋の RYLA セミナー実行委員会